

2021年度 日本工学院専門学校											
電子・電気科／電気工事コース											
電気工事材料・工具											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	若林恵美			実務 経験	無	職種	教員				
授業概要											
この科目では、主に電気工事の基礎となる材料や工具を学び理解していきます。工具では、腰道具から始まり実習で使用する工具を順番に学び現場で活用できるようにします。材料では、身の回りにあり見たことあるようなものから、ないものまでを教科書に沿い学んでいき、実際材料を見せながら手に取り触れて早く覚えられるようします。それ以外にも配線図や図記号を理解したうえで単線図から複線図へと直すことができるようにし電気の基礎を固めていきます。電気工実習での予習、復習を含めたうえで授業を行い実習をより理解できるようにするのがねらいです。											
到達目標											
この科目では、主に電気工事の基礎となる材料や工具を学び理解していきます。工具では、腰道具から始まり実習で使用する工具を順番に学び現場で活用できるようにします。材料では、身の回りにあり見たことあるようなものから、ないものまでを教科書に沿い学んでいき、実際材料を見せながら手に取り触れて早く覚えられるようします。それ以外にも配線図や図記号を理解したうえで単線図から複線図へと直すことができるようにし電気の基礎を固めていきます。電気工実習での予習、復習を含めたうえで授業を行い実習をより理解できるようにするのがねらいです。											
授業方法											
この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。授業中での行動を通じて、電気工実習をより理解し自ら率先して実習ができるようこの授業で基礎を学び身に付けることを目指す。											
成績評価方法											
試験	60％	試験と提出物総合的に評価する									
課題	30％	授業内容の理解度を確認するために行う									
平常点	10％	積極的な授業に参加授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動きや大学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
第2種電気工事士筆記試験すいーつと合格2019（ツールボックス）											
回数	授業計画										
第1回	材料工具の基礎を理解する										
第2回	配線図や図記号の理解する										
第3回	ケーブルや配管の種類を理解する										
第4回	電灯回路を複線図にする										
第5回	工事の種類について理解する										
第6回	各種機器と測定の方法について理解する										

2021年度 日本工学院専門学校	
電子・電気科／電気工事コース	
電気工事材料・工具	
第7回	電気工事法令を理解する
第8回	各種機器と測定の方法について理解する